

こくみん共済 U-12サッカーリーグ in 北海道 札幌地区リーグ2016 開催要項

目的	実力の拮抗したチーム同士による長期にわたるリーグ戦を行うことで、選手の試合出場機会を増やし、選手個人のモチベーションのアップおよび個人技能のレベルアップを図る。
主催	(公財) 北海道サッカー協会
主管	(一社) 札幌地区サッカー協会、札幌市サッカースポーツ少年団連盟
後援	札幌市教育委員会、(一社) 札幌市体育協会、札幌市サッカースポーツ少年団連盟後援会
運営	各ブロックの参加全チーム <ul style="list-style-type: none"> <li>*各ブロックから1チーム「リーグ運営委員」を推薦する。運営委員となったチームは、日程・会場調整、結果報告、累積・警告の管理など、ブロックの円滑な運営に努める。</li> <li>*リーグ運営委員とならなかったチームは、会場確保・準備・運営を日程の中で最低1日は行う。</li> <li>*各ブロックから「リーグ戦担当委員」を推薦する。担当委員はエントリー表や選手にかかわることの管理をする。</li> </ul>
期日	平成28年4月30日、5月7日・14日・21日、6月11日、18日、7月16日・23日、 8月6日、13日・27日、9月3日(すべて土曜日) <ul style="list-style-type: none"> <li>*上記日程でブロックごとに必要な日数を開催日として決定し、実施する。</li> <li>*全試合を消化することを原則とする。</li> </ul>
参加資格	①(公財)日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②参加選手は、スポーツ安全協会傷害保険(第1種A)もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ③6年生が9名以上登録されているチームは、2チーム以上の参加が可能である。(リーグ戦の目的を踏まえ、3年生以下の参加についてはチームで十分に検討すること。) ④単独チームでの参加が難しい場合は、近隣の複数チームで合同チームを結成しての参加も可能である。なお、その場合は、6年生の選手が7名以下のチーム同士であることが条件となる。
ブロック編成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の5つのカテゴリーに分けてブロック編成を行う。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①スーパーリーグ(16チーム:2ブロック)</li> <li>②アンビシャスリーグ(16チーム:2ブロック)</li> <li>③チャレンジリーグ(32チーム:4ブロック)</li> <li>④ドリームリーグ(32チーム:4ブロック)</li> <li>⑤フューチャーリーグ(32チーム:4ブロック) 新規チームはここからのスタート。</li> </ul> </li> <li>・参加チーム数が128を超えた場合、フューチャーリーグから順に9チームブロックとしていく。</li> <li>・リーグ戦の成績をもとに全日本少年サッカー大会札幌ブロック予選の組み合わせを決定する。</li> <li>・リーグの所属は前年度のリーグ戦の結果を反映し、リーグ下位チームとリーグ上位チームの入れ替えを行う。                      上記①⇔②は上位下位2チームずつの入れ替え、②⇔③は上位下位1チームずつの入れ替えとする。③⇔④以降は2チームずつの入れ替えとする。ただし、チームの抹消などで空位ができた場合は、入れ替え前の上位リーグチームを優先し、重複した場合は抽選して空位を埋める。希望がない場合などは下位リーグから吸い上げる。</li> </ul>
競技方法	①各ブロック2回戦総当たりのリーグ戦を行い、順位をつける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>*リーグ戦の順位決定方法は(1)勝ち点(勝ち:3点 引き分け:1点 負け:0点)(2)得失点(3)総得点(4)対戦相手(5)抽選の順とする。</li> </ul> ②試合は8人制とし、少年用ゴールを使用して行う。 ③試合時間は、30分(15分-5分-15分)とする。

<p style="text-align: center;">競技規則</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① (公財) 日本サッカー協会制定「サッカー競技規則2015/2016」および「8人制サッカールールと審判法」による。審判は、原則1人制とするが、審判育成のことも考え、ゲームごとに3人で行うことも可とする。</li> <li>② ベンチ入りの人数の制限はない。大会エントリー表兼メンバー表の提出を義務付ける。ベンチ入り全選手のフリー交替とする。(複数チーム登録の場合は、チーム間の選手の入替は可能であるが、同日別ブロックの試合に出ることはできない。)</li> <li>③ 試合開始30分以上前に、ユニフォームのチェックを義務付ける。(フィールドとキーパーで互別4着待参)</li> <li>④ 大会において退場させられた者は次の1試合に出場できず、大会期間中に警告を2回受けたものは次の1試合に出場できない。退場の理由・内容によっては、札幌地区サッカー協会規律・フェアプレー委員会の判断により複数の試合、または一定期間の出場停止もあり得る。</li> <li>⑤ 本大会期間中、警告を2回受けた者は、2回目の警告を受けた試合の次の1試合に出場できない。警告の持ちこしは、リーグ戦担当委員が責任を持ちリーグ内で管理する。</li> <li>⑥ 試合球は、4号球(検定球)とする。</li> <li>⑦ スパイクシューズは固定スタッドの物とし、金属あるいはプラスチック製取替スタッドの物承認がない。</li> <li>⑧ エントリー表と選手証の確認をする。選手証は1度認証されたらそれ以降は提示の必要はない。</li> </ol>
<p style="text-align: center;">ユニフォーム</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ユニフォームは(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規定を厳守すること。</li> <li>② 上衣・パンツ・ストッキング互別の色としてこれと異なる色の上衣・パンツ・ストッキングを携帯すること。</li> <li>③ 審判と類似の色の上衣を用いることはできない。</li> <li>④ F/PとGKが交替する場合、時間短縮とより多くの子にGKを経験させることを考え、ビブ着用でのGKを認める。ただし、前半と後半の開始時に正規に登録されたユニフォームを着用すること。</li> </ol>
<p style="text-align: center;">その他</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① リーグ戦実施の目的を達成するために、全チームの参加を義務付ける。ただし、チーム事情で参加が難しい場合は、事務局と相談し、参加の有無を決定する。</li> <li>② 札幌市サッカースポーツ少年団連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格など、その他都合が行為があった場合、出場を停止することもある。</li> <li>③ 各チーム指導者は、リーグ戦実施の意義(公財)日本サッカー協会の方針を十分に理解し、試合に臨むこと。ベンチ入り選手は、前半もしくは後半のいずれかに必ず出場させるなど、選手の出場機会確保に十分に配慮すること。</li> <li>④ グラウンドサイズについては、60～68m×40～50mとする。</li> <li>⑤ 本大会に参加するチームは、(社)札幌地区サッカー協会主催の指導者研習会(5月開催予定)に協会登録チームにつき1名以上の参加を義務付ける。</li> <li>⑥ リーグ戦の結果をもとに全日本少年サッカー大会札幌ブロック予選およびそれにつながる札幌地区予選の組み合わせを決定する。詳細については、別途提案とする。</li> <li>⑦ 札幌地区予選以降のトーナメントにはリーグ戦最終節のメンバー表に記載されたメンバーから16名を選出してエントリーすることとする。</li> <li>⑧ 追加エントリーがある場合は、Web登録等所定の手続きが完了してから承認認める。その際、その選手の名前を記載した大会エントリー表兼メンバー表を作成し、事務局に提出して確認を受けることとする。その手続きはその試合の1週間前までとする。背番号の変更がある場合も同様とする。</li> <li>⑨ 複数エントリーのチームの選手の入替は、移動カードが開かれている期間のみとし、チーム内で重複することのないよう大会エントリー表兼メンバー表を作成し、リーグ戦担当委員に提出して確認を受けることとする。 移動カードは5/22(日)～27(金)と7/24(日)～29(金)の2回とする。</li> <li>⑩ 大会エントリー表兼メンバー表が破損や紛失した場合は、事務局で預けている大会エントリー表兼メンバー表の複製を受け、承認印を受けたものを使用することとする。</li> <li>⑪ リーグ戦期間中に事情によりチームが参加不可能となった場合、そのチームの該当結果はすでに終わった試合も含め、すべて抹消(翌試合扱い)とする。</li> <li>⑫ 新規チームはフューチャーリーグからの参加を原則とするが、チームの合併や合同、名称の変更等の場合はその限りではない。</li> <li>⑬ 母体が同じチームは同じブロックに入らないよう考慮する。</li> </ol>